

火災で全焼した 55 年の老舗 柳屋食堂が再建へ 3 代目が先代の味を受け継ぎ 営業再開を目指す

焼け跡に残った看板と常連客の声が再起の支えに

福岡県みやま市高田町で 55 年にわたり営業してきた柳屋食堂は、2026 年 6 月 23 日夜の火災で全焼しました。先代「ラーメン仙人」の甥で 3 代目の柳詰将輝は、受け継いだ味と地域の人々が集う店を守るため、再建を決意。営業再開に向けて準備を進めています。



火災後も残った柳屋食堂の看板



3 代目 柳詰将輝

55 年の味を受け継ぐ 3 代目

ラーメンやちゃんぽん、焼きめしなどで親しまれてきた柳屋食堂。長年厨房に立った先代は、その風貌とひたむきにラーメンを作る姿から「ラーメン仙人」と呼ばれました。先代亡き後も、柳詰はその味と店への思いを受け継いできました。

残った看板と常連客の声が再建の支えに

火災後、焼け跡には長年掲げてきた看板が残っていました。柳詰は「この看板が残ったのに、柳屋食堂を辞めるわけにはいかない」と再起を決意。何十年も通う常連客や、親子二代・三代で訪れる家族らから届いた「また柳屋のラーメンが食べたい」「再開を待っています」という声も、再建への支えとなっています。

従来での再開を目指し準備

現在は、できる限り従来での再開を目指しています。建物の状況や再建の条件によっては移転も検討し、味と店の名前を残すことを優先します。再建に向け、CAMPFIRE でのクラウドファンディングも準備中です。詳細は改めて発表します。

取材 お問い合わせ先

柳詰将輝へのインタビューが可能です。現地撮影は個別にご相談ください。

柳屋食堂 担当：柳詰将輝

住所：福岡県筑後市和泉 366-10

電話：090-9495-3031

メール：mskrnsut.yfam913@icloud.com

